

## 平成29年度 第2回「ともに考えよう まちづくりミーティング」

平成29年8月27日（日）14時00分～

元町福祉健康センター 2階もとまちホール

馬場、浅野町、森山（校下、地区）

### (1) 市長あいさつ

【山野金沢市長】

皆さん、こんにちは。

日曜日のお昼、さまざまなご予定もあったかと思いますが、多くの皆さんにお越しをいただきました。まずは御礼を申し上げます。本当にありがとうございます。

今日は、馬場、浅野町、森山、この3校下の皆さんにお越しをいただきました。金沢駅から至近距離、歩くことはもちろん、自転車でしたらすぐに到達する距離ということもありまして、多くの観光客の方もいらっしゃるかとも思いますし、またそれぞれのさまざまな地域課題もあるともお聞きをしているところであります。

冒頭、司会のほうからお話がありましたように、まずは改めて問題意識を共有させていただきながら、ともに課題を対応していく、解決していくためにはどんなことをやっていけばいいのか、そのことを多くの皆さんがいらっしゃるところで問題意識を共有して取り組んでいければと思っています。

限られた時間ではありますが、実りある会になればと思っていますので、どうぞ最後までよろしくをお願いします。

### (2) 地域代表あいさつ

【馬場校下町会連合会 会長 清水氏】

皆さん、こんにちは。

夏休み最後の日曜日、しかも午後、非常に集まりにくい時間帯だと思いますが、金沢市のほうから山野市長さん初め関係部局長さんもお集まりいただきました。地元選出の市会議員の皆さんも参列されております。地域からは、本当にこの時間帯、出にくいにもかかわらず大勢の皆さんお集まりいただきまして、ありがとうございます。

今日は、馬場、浅野、森山、各地域それぞれが抱える課題についてと、それから共通の

課題について、合わせて4つの課題についてそれぞれプレゼンテーションが行われることになっております。市からはそれに対する考え方が語られるということになっております。

この会合が単なるセレモニーではなく、何らかの解決の糸口ぐらいはつかめたらという期待を込めて今日のディスカッションを期待しておりますので、どうか活発なご意見、皆さん方交わしていただきたいと思います。

それでは、最後までよろしく申し上げます。簡単ですが挨拶とさせていただきます。

### (3) 地域課題の説明、課題に対する市の方針等の説明、討議

#### ①馬場校下における人的資源の活用と互助力向上について（馬場校下）

「地域課題の説明」及び「課題に対する市の方針等の説明」については、レジュメを参考願います。

#### ②多世代間交流による校下の活性化について（浅野町校下）

「地域課題の説明」及び「課題に対する市の方針等の説明」については、レジュメを参考願います。

#### 【浅野町校下町会連合会】

私、浅野町に住んでいる者ですけど、三世代交流ということで、私たちの年代、ちょうど小学生ぐらいの子供たちが、町の行事というものに実は余り参加しなかったのが現状です。先ほどの補足ですけど、今年、文化祭を開催するのですが、先程、社会福祉協議会や公民館等いろいろと言っていましたけど、今年度はそこに育友会も入りました。私たちは育友会で活動しているときに親同士をつなげるのが精いっぱいだった。けれど、いろんな行事をしても親と子供、ぎりぎりおじいちゃんかなというところに来てもらって、そこで満足していたのですが、よくよく考えるとそれでは地域に住んでいることにならないということで、ぜひ子供たちに、地域に住んでいるおじいちゃん、おばあちゃん、おっちゃん、おばちゃんに接点を持ってもらって、挨拶できる環境、知らない人じゃなくて知っている人たちが住んでいる町にしたいなと思い、今、そういう活動を積極的にやっています。「かなざわ父親ねっと」という金沢市のお父さんの会が各小学校にあるが、そこでも

前回は30校ぐらいのお父さんたちが集まりまして情報の共有化、さっき言ったように金沢市北部が発展しない、金沢市南部が発展するということで、発展したところを真似て地域に落とすということをやっております、建前で交流すると言っても、実際、参加することがまず面倒くさいというのがありますし、地域の活動がいっぱいある。児童館、〇〇会、△△会、町会の行事等たくさんあり過ぎまして、私たちも休みがあまりなく、それに全部積極的に出られるかという大変ですし、人も足りない。だったら、みんな一緒にやろうということで、ある程度多いものを集約していった団体を共有してもらおうことと、あとはどの地域でどんな交流活動をしているか。フェイスブックとかいいね金沢で結構積極的に小さな行事から大きな行事まで配信されていて、あれを見ていると、こんなことをしているのなら行ってみようかなということで、やはり私たちは電子機器から情報を得ることが多いので、ああいうものを積極的に配信していただくと、他の地域の活動を知ることができるので、情報の共有化と実行した結果や、こんな課題があったよ、という話をできる場があればいいなということで、地域の活動に対しては積極的にやっていきたいなと思っていますので、金沢市でも情報発信とか共有をしっかりとやっていただけるとよくなるのかなと感じています。

#### 【鹿間市民局長】

さまざまな地域の中でいろんな団体とつながって活動していただいていること、非常に素晴らしいことだと思います。

最後に情報の発信、共有ということが非常に重要だとお話をされておりましたけれども、まさにそのとおりでして、今年度、この地域活性化するためのモデル事業というのを実施しております、本来なら今、発表していただいた浅野町校下の取り組みをモデル事業として申請いただきたかったのですが、残念ながら応募がなかったので、来年度以降にまた参考にさせていただきたいと思いますが、モデル事業の中にもやはり金沢市全体の情報共有だけじゃなくて、地域だけの情報を通して、いろんな地域の情報をもたらえる。情報がなかなかつながらない人にもいろんな情報の発信の仕方がありますので、さまざまな情報ツールを使いながら、いろんな方々に情報を発信していくことは非常に重要だと思っております、ぜひ来年度の施策に反映していきたいと思っております。またいろんなご意見があると思うので、ぜひご尽力いただきたいです。

## 【山野金沢市長】

金沢市のフェイスブックの情報発信に触れていただき、大変うれしく思っています。

実は金沢市のフェイスブックは各部署から20代から30代、手挙げてもらって二、三人ずつ出してもらって、私が事例を渡してお願いしています。それぞれの部署の情報を一日平均3つか4つ、いろんな情報を発信しています。今、おっしゃっていただいたように金沢市のフェイスブックを見て、行こうかなと思ったということは、担当の人間に伝えるとすぐ喜ぶと思いますので、そのことはしっかりと伝えさせていただきたい。

一つ参考になるかどうか、僕は、子供はもう大きいのですけれども、長坂3丁目に住んでいますので小学校校下は長坂台小学校になります。先輩方がうまいこと考えたと思うのが、年度が始まる直前、3月末ぐらいにPTA、そして学童野球、少年サッカー、児童クラブ、少連の子供会の役の方たちが全部集まる。全部集まって、来年度の今考えている予定を全部上げてもらう。できる限り重ならないようにしようと。野球の公式戦とかサッカーの公式戦は仕方がない。でも、練習試合だとかそういうものはできるだけいろんな事業をにらめっこして重ならないようにして、例えば児童クラブの文化祭は学童野球の子供たちも参加できるようにしようとか、PTAのこんな事業については学童野球、少年サッカーの子供たちもできる限り参加できるようにしようとか、そういうことを年度が始まる前に調整をされていました。僕は、それはすごくいいなど。まさに地域のこの子は野球しているから、サッカーしているから、児童クラブへ行っているから参加できないというのではなくて、どうしてもできないことはありますけれども、事前に情報の調整をすることによって、これは多分先輩方からずっとつなげてきたやり方だと思うのですけれども、そういう形でまさに地域で子供たちを大切に育てていこうというのがよかったなと思いますので、ぜひ一つの参考になればと思っています。

町連会長から、地域活動は人づくりだというお話が出ました。その地域の人づくりの核になるのは、私は地域公民館だと思っています。私はよく公務の合間合間にいろんな公民館であったり児童館にアポもとらずに飛び込みで訪問して、館長や主事さんがびっくりしたりしていますけれども、いろんなご意見なんかもお聞きをいたします。浅野町公民館は、実はたしか私の記憶に違いがなければ、4年前もこの会で公民館のあり方についてご意見もいただきまして、これから地域の皆さんと行政でしっかり連携をとりながら取り組んでいこうという問題意識の確認はできましたけれども、残念ながら今現在、これで全て解決できますという回答は出せないかもしれませんが、今、町連会長がまさに人づくりだとお

っしゃっていただきました。館長のご提案で、各種団体で、合同で文化祭をやろうということもおっしゃっていただきました。ぜひ引き続きになりますが、公民館のあり方、公民館の場所も含めた形での問題提起だったと思いますので、そのことも改めて地域の皆さんと、我々行政も問題意識を共有しながら、簡単な解決はないかもしれませんが、少しでもその取り組みに向けて進めていければと思っています。

#### 【浅野町校下町会連合会】

もう1点、地域課題ということで上げさせていただきました。

さっき市長から話があったように公民館の移築の問題です。昭和54年に今の公民館ができました。38年間経過しています。老朽化によって非常に補修等も出てきているし、何せ一番の大きな問題は小学校から非常に遠いということで、いろんないい事業をしようと思っても、なかなか人集めに大変な苦勞をしているというのが現状です。

公民館から近いのは浅野町児童館が近いです。浅野町児童館は山出市長さんのときに建てられました。当時、山出市長が日参して、どうしてもここでないとダメだということで、私も同席をして金沢市へ売却した経緯があって、地元は地元で一生懸命やりますが、行政も少し、さっき市長から話があったように、いろんなことをやりたいのはたくさんあるけれども、また学校からも遠いということで、我々も一生懸命用地取得に向けて探していますが、それをするのもやっぱり行政の仕事かもわかりませんので、長い目で見て協力していただければありがたいと思っていますので、よろしくお願いします。

#### 【山野金沢市長】

今ほど経緯も改めてお聞きもいたしましたし、公民館、ちょっと古いなどは思っていましたけれども、改めて年数もお聞きいたしました。今、会長からも我々もという表現もありましたし、行政もという表現もありましたので、しっかりと受けとめて、地元の先生方にも相談に乗っていただきながら取り組んでいきたいと思えます。

#### ③鳴和町防災道路の延伸について（森山校下）

「地域課題の説明」及び「課題に対する市の方針等の説明」については、レジュメを参考願います。

### 【森山校下町会連合会】

今、鳴和の防災道路のことについてのお願いと、そして回答がございました。

浅野町、馬場、森山といいますのは金沢の北部ですけど、知らない人たちに聞くと平地地だけだと思われている。ところが、卯辰山の山麓に点々と家がある。そして、新しく造成された住宅地も幾つもある。今ほど出ている天下台団地、正式名称ではありませんが、鳴和滝団地、これは、私は記憶ありませんが多分昭和40年代ごろから造成された住宅地だと思います。当時は皆さん、夢を持って新しい場所に家を建てて、我が町として住んでいたわけです。ところが最近、防災という観点からいろんな事故も多いですし、そしてそういったことに対する訓練とか安全意識が非常に高まってきている。はっきり言いますと、若い人たちが住まなくなった。年配の人たち、私たちの世代は、これは自分で建てた家だ、これは親から譲ってもらった家だ、ととても大事にする。でも、若い人たちは生活に便利か安全かどうか、これが非常に大きなウエートを占める。今ほど出たところへ行きますと、昼も夜も人が住んでない家が非常にふえてきている。子供が少ない。例えば馬場小学校、森山町小学校も子供の数が非常に減ってきています。若い人がやはり少なくなってきたせいだと思います。

今、回答をお伺いしていると、土木技術的には非常に困難であるということはある。でも、私、こんなことは申し上げるつもりはないのですが、困難というのは困る。誰が困るのでしょうか。難しい。誰が難しいのか。これは工事をする側の発想だと思う。住んでいる人は、じゃ、あんた方、うごきなさい、ここ危ないからどこか平地へ行きなさいよというのは簡単なのですが、やはりなかなか簡単にそういうわけにいかない面が多い。ですから、この問題についていろいろな面、特に私、土木技術の専門家じゃありませんのでわかりませんが、もし今検討しているルートが困難であれば、新しいルートを探す。それが工事費1.5倍かかる、あるいは2倍かかるかもしれません。行政もいろいろ予算的にも問題があると思います。不可能なら仕方ないと思う。ですが、困難であれば、やはり第2、第3の道を検討していただきたい。ですから、だめですよと言わないで、今の時点では難しいという回答をいただきたいと思う。

それから、工事方法。新幹線に乗りますと、こんなところよくトンネルついたなど。そんなことを思ったら、鳴和の防災道路なんてこれは問題にならないほど簡単な工事で済むのではないかなと、素人考えでそう思います。

ですから、工事的な投資も非常に大事ですが、長年住み続けている場所を離れたくない

人たちのための安全、防災のためにも、ぜひ検討をしていただきたいということをお願いします。

**【森山校下町会連合会】**

先ほど言われた課長さん、土砂災害の地域だと言われたけど、県の危機管理課から鳴和町の町内に対して、前は3カ所あって、それが今2カ所に減った。1カ所は天下台の今言った道路の反対側です。左側になる。それともう1カ所は、鳴和町の中心の、ちょうど墓の下の反対側の山ですけど、丘みたいなそれが指定されています。そして、お宮さんの上から天下台へ行くところは県の危機管理課は何も言っておりません。

それを言われ、聞いてみて、違うなと思ったので、ここで一言つけ加えます。

**【磯部土木局長】**

まず、最初の困難というのはできないということではないはずだというご指摘ですけど、非常に皆様のお気持ちもわかりますし、入り口は当然、今1カ所しかないところを2方向避難というのがまず普通、当然安心のためには必要というお考えもわかります。

ただ、今調査の結果、整理した上で申し上げますと、コストの問題というわけではなくて、技術的にできないことはないと思います。何を心配しているかといいますと、やはり土木構造物で大きなのり面を切ってつくる場合に、どうしても一定の設計する基準といたしますか、これくらいの強度でありますとか安全率、そういうことを決めてつくらなければならないというところがあって、近年の気象状況を見ていますと、そういう基準をはるかに超えるような、100年に一度の大雨等が本当に頻発していて、我々土木といたしますか行政でそういうインフラをつくるとすると、やはり安全なものをつくりましたので安心して使ってくださいというものを前提につくるべきですし、そのために幾つかのルート、平成23年の調査でも直接、鳴和滝団地と天下台団地を結ぶルートのほかにも幾つものルートは検討したんですが、これなら絶対自信を持って使っていただけるという案がなかなかできないという状況もあります。

今後の気象の状況も踏まえて研究は続けていきますが、それだと、今皆さん心配しているのに、これからどうするのだということにもなりますので、今ある状況の中でもできることはあると思っていますし、例えば入り口、小坂神社の横を通って入っていく1本しかないという状況です。そこをもう少し補強するとか、緊急車両をもっと回りやすくすると

か、いろんな工夫は双方相談しながらできることはある。そういうこともあわせてやっていきたい。

もう1点、情報がちょっと違うのではないかということなのですが、今、県でも市でも砂防の指定とか土砂災害警戒区域とかは公表されていまして、それに基づいて調査していますので、またその辺は具体的にお話しさせていただきたい。

冒頭に申しあげましたこの両団地を結ぶところの指定に関しては、やはり地すべり防止区域とか、警戒区域になっているのは間違いないと思いますが、ちょっとそのエリアが違ふところがあるかもしれない。また、情報交換させていただきたいと思います。その上でまた検討したい。

#### 【森山校下町会連合会】

もう一つ聞くのですが、今の言われることなら、もう今回はダメだということならはっきり言ってほしい。角の空き家の持ち主に、今度、27日に話しして決まるので、1年か少なくとも2年は待ってくれと。個人的に売買したら、税金はかかるよと。これから、市、県、官庁に売れば、買収されれば税金は一切かからない。5,000万円まで税金がかからないから考えてくれと、相手に納得させて、2年ほどは待ってくれと伝えました。もしダメならダメで言ってもらえばはっきり断りますから。

私は2年ほど待ってくれと言ったので、本当に今は道つけるにはいいチャンスだと思うから言ったのですが、そのところまた力入れて考えてください。いい方向に。

#### 【山野金沢市長】

個人の資産を我々で、ここは今の段階で買うとか買わないとかははっきり申し上げることはできません。

ただ、今、局長が申しあげましたように、県ともしっかり連携して、私も現場を見ています。極めて危険な区域。生活している方もいらっしゃいますし、救急車両が入りやすい環境をつくるとか、そういうことはしっかりと取り組んでいかなければいけないと思っていますし、またハード的にできることは精いっぱいさせていただきますし、あとは先ほど自助、公助、共助のお話もありましたが、万が一のことがあったときのためのソフト的なことを含めた対応というものはしっかりとさせていただきたいと思いますし、ハード的なものはできる限りのことは安全を担保できることはやっていきたい。



ですので、ぜひそこはご理解をいただければと思います。

#### 【森山校下町会連合会】

今の天下台と鳴和滝団地はどちらも入る道が1本だけですから、そこでつながればどちらもいいなと自分は思っているから力入ってちょっと言いすぎたかもしれないが、そういうわけです。そこのところを理解して、よろしくお願いします。

#### (4) 共通課題についての討議

若者世代の定住促進（親子の「同居」、「近居」を推奨する施策について）

（森山校 下）

「共通課題の説明」及び「課題に対する市の方針等の説明」については、レジュメを参考願います。

#### 【浅野町校下町会連合会】

先ほど言いましたように、サポート隊、さっき馬場の方が説明されたけれども、サポート隊の方で悪いことを言われていると言いますが、うちの校下は成功しています。

というのは、サポート隊が170人ほどいます。角角に全部立っております。実際やっているのは、声を出すということ。すなわち、うちの校下は特に東大通りの陸橋の問題とかいろんな問題がたくさんあったのですけれども、その辺で大変助かっている。どういうことかという、声をかけるというのは、子供さんから声をかける。おじさんに「おはようございます」「今日どうですか」と話しかけていくことによって、子供さんにだんだん悪いことをしないようになってきたわけ。さっき馬場校下の方が言われたのは、サポート隊は返事もしてくれないというのもあるけれども今、鳴和中学校へ行っても先に声をかけてくれるんです。僕自身はサポート隊をやってもう20年近くやっておりますが、今、サポート隊には全員声をかけてきます。知らない生徒が声をかけてくれる。浅野町校下と瓢箪町校下習ってやるのは、特に教育委員会が力を入れているけれども、その面で言うならば瓢箪町校下が参考になるのではないかと。

馬場の場合は、一生懸命車止めたりするけれども、車を止めるよりも先に通る人に声をかけてやる。子供さんから大人に声をかけることによって、これが10年以上続けることに

よって、みんないいように変わっていくのではないかと。

同時に、さっき出ましたように自助、共助、公助、防犯・防災でいろんな形出ましたけれども、今、その自助、共助よりも近所のつき合いが大切だということ。特に今日、実際に防災訓練をやっている。今日集まったのは、いつもどおりの1割、2割ほど多く来ている。ということは、それだけ防災によって何をやるか。今工事中でちょっと使えないですが、浅野町小学校のピロティとか運動場を使って子供たちにこういうことを教えることによって、子供よりも大人の方が、何で僕らもあんなことさせてくれないのかということもある。

自助、共助、公助というよりも、公助は市へ言えば何とかしてくれるだろうから、そういうことよりも、今言うように「ともに考えよう」というタイトルですから、どうしたらいいかということを考えてほしい、ということをお祈りにさせていただきます。

近所から防災訓練に来られる方もたくさんいます。それもそういうふうに行っていくのは、被害に遭った、平成20年7月28日の浅野川水害から10年になります。床上浸水94件、実際の被害を受けたのはもっと数が多いです。馬場とか森山は、被害がない。被害を受けたところは被害を受けたなりに頑張っている。そうすることによって、共助とか先ほどいろんな話が出ましたが、高台がどうかそういう問題よりも、まず自分達がどうやったらいいのかを考えて、それを市に持っていき、ということをお祈りにさせていただきます。

#### 【木谷都市整備局長】

今回出てきたお話の中で空き家の話が出てきた。コミュニティのいろんな活動の話とか、公民館遠いとかいろんな話が出てきた中で、実は今、金沢市で空き家があって、貸してくれる方と使う方の条件がうまく揃わなくて、まだ実は実現はしていませんが空き家があります。この方が、当分使わないというときに、この空き家を10年間、市と町会・地元団体と持ち主さんとで約束事を結んで、例えばカフェの話が局長からも出ましたが、例えばそういう場として地元の方々が集って何かコミュニティを作ってやることに役立つ活動をするというときに、実は税金も固定資産税の免除でありますとか、あと最初使うときにいろんな改修費、例えば多少でも修理するといったときに、上限はありますが、支援する制度もございます。

今、実際のところ3校下ともかなりの空き家があるかと思えます。そういう中で、少し

所有者さんと会っての話ではございますが、もしも、空き家で何かうまく使える話がありましたら、これも住宅政策課で受け付けしておりますので、またそのときの一つの基地と  
いいですかポイントの場所にもなるかと思っておりますので、何かのときにこんな制度もあるこ  
とを少しお知りいただければと思っておりますので紹介させていただきます。

#### 【山野金沢市長】

一つ補足。先ほど局長から同居の加算制度があるとか、45歳より若い方のU J I ターン  
の支援制度があります。また、親の世代が引っ越す場合も支援制度を設けたということ  
を申し上げましたし、いろんなパンフレットもつくっていますし、ホームページにも載っ  
ています。

ハウスメーカーさんにご相談いただければ、ハウスメーカーさんは間違いなく知って  
います。ハウスメーカーさんの営業トークになりますけど、間違いなく知っていますけれ  
ども、ただ、普通の人ハウスメーカーさんに相談しに行くのは、やっぱりよっぽど勇気が  
要するというか、腹決めてから行く方が多いかと思っております。もしかしたら、日常の会話中  
で金沢市はこういう加算制度があるよということを知っていれば背中を押すことになる。

我々は我々で情報発信、一生懸命頑張りますが、なかなか手が届かないこともあるか  
と思っております。今こうやってこの場でこんな議論も出ましたので、そんな制度が市にあるとい  
うこともぜひいろんな場面でお伝えいただければ大変うれしいなと思っておりますし、我々とし  
てもそういう支援制度をつくりましたが、使ってもらって初めて価値がある制度でありま  
すので、ハウスメーカーさんはもちろんご存じではありますけれども、ぜひより多くの方  
にお知らせいただくためのお力添えもいただければと思っております。

#### (5) その他質疑応答

##### 【森山校下町会連合会】

本日、まちづくりミーティング、大変有意義で、これの前段階の話し合いにも私、参加  
させていただきまして、共通課題、定住促進、参加者の意見、採用されまして、今日に至  
っております。

ただ、本日、これだけ皆様お集まりいただいておりますが、余りにも発言が少ないかな  
と思っております。

先ほど鹿間局長から来年は金沢の市民の活動コミュニティセンターのほうが開設され

ると。それと並行しまして、コミュニティコーディネーターの育成ということで、平成27年より協働のまちづくりファシリテーター講座というのが開かれております。私もふとしたご縁で受講させていただきまして、ことしの5月、25人、認定されました。せんだって、その講座の一環としまして、まちづくりサロンin森山、これは実は森山は2回目になるが開催いたしまして、今回も大変楽しい活発な意見が出ました。それは30人ぐらいのミーティングだったのですけれども、全員参加で全員意見を述べると。

今日見ると、本当にもう立派な方たくさんいらっしゃるのに、もったいないなと思いますし、先ほど馬場さん、浅野町さんの言われていた話し合いに関しても、私たちコミュニティコーディネーターをどうか生かしていただければ、せっかくの施策として私たち認定していただいたのが浮かばれるんじゃないかなと思いました。

#### 【山野金沢市長】

私、市長になって7年目になりますが、最初、まちづくりミーティングをしました。こっち側に市長、両副市長、教育長初め局長がずら一と並びました。いわゆるスクール形式で皆さんが対面する形でお話し合いをさせていただきました。やっぱり余り意見が出なかったし、僕もぜひ求めたのですが、何人かの方がおっしゃって、その中で1人、60代ぐらいでしょうか女性の方が勇気を持って手を挙げていただいて、「市長。何でも意見を言ってもいいって言うけれども、意見言える雰囲気ですか、これ。市長を初め偉い人がずら一と並んで、こっち側に地元の人が並んで、なかなか意見が言いづらい。意見をもし言えというんだったら、そんな雰囲気つくってほしい」とおっしゃっていただきました。

私もそのとおりだなと思ひまして、担当の部署やいろんな皆さんとも相談しながら、実は今も試行錯誤です。対面、教室形式をやめて、こういう口の字にさせていただいたりとか、市の職員と地域の皆さんが固まって座るのではなくて、できるだけばらばらに座ったりだとか、また若い方たちの意見をということもありましたので、実は2年ほど、東西南北4つに分けて、小中学校のPTA、育友会の皆さんと私が1人で意見交換をさせていただく、そんな試みなんかもさせていただきました。

また、その試みの一つとしておっしゃっていただいたファシリテーター講座を開かせていただいて、行政が仕切るというものもあってもいいのかもしれませんが、まさに市民の皆さんが仕切る形での人材を育成するファシリテーター講座をつくらせていただきまして、何人かの方が研修を受けていただいて、それぞれの地域で幾つかいろんな意見交換も

していただいているところでありますし、それは当然、私のところに報告が来ているところでもあります。

今日も、恥ずかしながら7年目になりますが、試行錯誤の中でしておりますので、今、言ったご意見、ファシリテーター講座がそうやって形になっていることも改めてお聞きしまして大変うれしく思いましたし、また今後の進め方をどうしたらいいのかも含めて、なかなか発言しづらい方はアンケート用紙に書いていただいても結構ですし、いろんな少しでも皆さんの地域の声を聞かせていただけるそんなヒントをまたいただければなと思っております。

ちょっと答えになっていませんが、今のこの6年、7年の取り組みと意思を申し上げさせていただきました。

## (6) 市長まとめ

### 【山野金沢市長】

今日は、金沢だけじゃないと思いますが、全国的にいろんな行事が行われている中、皆さん、たくさんの方お越しいただきまして心より感謝を申し上げます。また、地域の声も直接聞かせていただきましたことにも御礼を申し上げたいというふうに思っています。

また、最後にありましたように、このまちづくりミーティング、この6年、7年、試行錯誤の中で繰り返しているところではありますけれども、まだまだ課題も多いと思っておりますので、我々は我々で工夫できるように努力していきますけれども、ぜひ皆さん方も市民の意見を聞くならこんな形でしたらいいのではないかと、あんな形がいいのではないかと、そんな形でまたご提案もいただければと思っています。

私はいつもまちづくりミーティングの最後で申し上げますけれども、やっぱりたくさんの方の前で手を挙げて発言するというのはなかなか勇気が要ると思います。特に若い方たちはなおさら勇気が要ると思います。直接、これはやっぱり市長の耳に入れたい意見だということもあるかと思えます。

私は自宅の住所も電話番号もファクス番号も全部フルにオープンにしています。私の自分のホームページもフェイスブックもツイッターもインスタも全部完全にオープンにしていますので、ぜひこれは直接市長の耳に入れたいというご意見は直接ご意見をいただければと思います。お手紙であっても結構ですし、メール等々でも結構です。

できれば、いつもこうやって言っているのですが、家族と一緒に住んでいますので、

できれば自宅の電話はご遠慮いただければ助かるなと思いますが、でも受けますけれども、できればそれ以外の手段で、ファクスやメールや手紙なりでいただければと思います。

ご返事は、考え方は私が直接ご返事いたしますが、具体的な施策はやはり局長なり課長なりからご返事させていただくことがあるかと思います。でもその場合であったとしても確実に私が読みましたよ、私が見ましたよという返事をしてから、局長なり課長なりからご返事をさせていただければと思っています。

いろんな方法があるかと思いますが、ぜひ皆さんの声を届けていただければと思いますし、私自身も皆さんの中に入って行って声を聞かせていただいて施策に取り組んでいきたい。

本日はご多用のところ、また暑いところ、たくさんの方お越しいただきました。改めて御礼申し上げます。

ありがとうございました。